

設備工事情報シート	衛生	Ⅱ-P-39-改 <sub>1</sub>	制定	2017年3月1日
			改訂	2019年4月1日
機器・材料	放水型スプリンクラー設備		ヤマトプロテック編	

### 1. 目的・概要

ホールや地下街などの開放的なアトリウム空間を、高天井の側壁要所に設置した放水型ヘッドが、防護空間を広範囲にカバーし、火災感知器などと連動して火災から守る。

総合的な防災体制をつくるインテリジェント防火システムとして注目されているスプリンクラー設備である。



日本消防検定協会

放水型ヘッド等SP設備

1号評価合格・評価番号S015

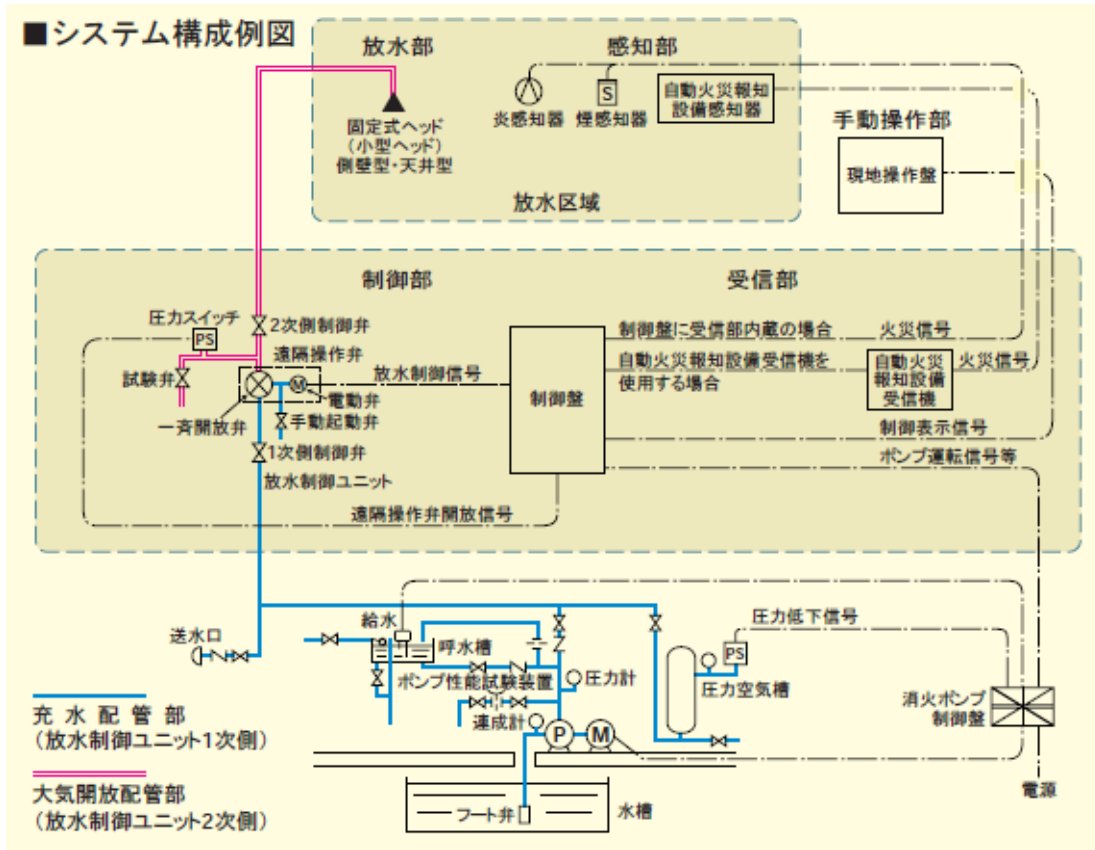
### 2. 放水型スプリンクラー設備の特長

- ・ヘッドの種類が多いので、細かな設計が可能。無駄な放水量、圧力が低減できる。
- ・放水量、圧力の低減により、ポンプ、水源の低減が図れる可能性がある。
- ・ポンプの性能が下がることでインシタルコスト及び、電気代のランニングコストも下がる可能性がある。

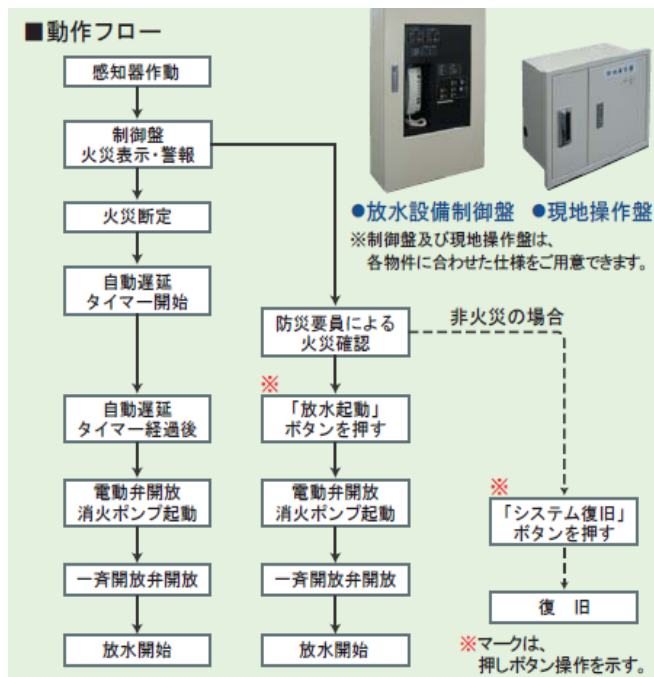


●放水型スプリンクラーヘッド  
SH900型

3. 放水型スプリンクラー設備の機器構成 (例)



4. 作動フロー



5. 問い合わせ先

ヤマトプロテック(株) マーケティング室 TEL:03-3446-7153 FAX:03-3446-7243